

「2012 年初級登山学校を終えて」



修了山行をもって2012年度、初級登山学校最後の日となりました。

登山学校で経験させて頂いた「山に必要な食糧や装備の説明、蓬莱峡での歩行訓練、比良での沢行、武奈ヶ岳でのテント泊、岩登り実技 etc」など振り返ってみると、いつもそばにはサポートして頂くスタッフの存在があった事を感じています。女子が多い生徒達は「あの人すごいよ～」なんて失礼ながらも、ミーハー的に喋ったりもしていました。

私達はかけがえのないものを手に入れることができました。次は私達が繋いでいく番ですね。

登山学校を手伝ってくださった皆様と全ての関係者の方に厚く御礼申し上げます。

生徒会長 木村 大義

【伊地智 春華】

お店で見つけたパンフレットで豊中労山のセミナーを知り、気軽な気持ちでセミナーに参加しました。

セミナーでスタッフの方に初級登山学校のことを色々教えていただき、これまた気軽な気持ちで初級登山学校に入校することになりました。それまではハイキング程度の経験しかなかったのですが、野外でごはんを作って食べたり、テントを張ってテントで寝たり、登山学校に入らなければ体験しなかったであろうことを、体験させていただくことができました。

なかでも一番印象的だったのは「沢登り」で、危険とスリルを感じながら進んでいき、「こんなとこ登るの?!」と思うようなところもC班の方々と一緒にいてくださったおかげで、とても楽しく沢登りを体験することができました。

翌日は体中アザだらけになりましたが、あんなにアウトドアを面白いと思ったことはありませんでした。

仕事の都合で日程があわず、実技等、十分に参加することが出来ず大変残念だったのですが、登山学校に入校し、とても貴重な経験をさせていただくことができました。

【加藤 英美】

今までスポーツは個人競技ばかりだったので、協調性や協力することの大切さを知りました。誰かが誰かをフォローする、助け合う、そんな場面にたくさん出会って、ハツとさせられたものです。みんなとの距離が近いから、本当に1人1人の良いところや素敵ところをたくさん知れて良かったです。みんなと出会えて幸せです。豊中労山に入ったこと、初級に入って良かったと思っています。人との出会い、自然の美しさ— 新しい世界を教えてもらい、見せてもらったことに感謝しています。

【北川 有希】

昨年10月に参加したハイキングセミナーで配られたチラシ。カリキュラムを見て「楽しそう♪」と学びたい度がアップ! でも、自分の体力についていけるのか迷い…迷いながらも思いきって入学してみました。

読図、ボッカ、シュリングなど、今まで知らなかった単語も続出。装備を揃えるために、山ショップへ

立ち寄ったりと、4月からの新しい領域は新鮮でした。まさか自分が大きなザックを背負い、テント設営まで！

山行(実技)はそれぞれ思い出があります。クライミングジムでの練習や実際の岩登り、スリリングな沢登りなど、初心者ながらに達成感があり、これに楽しさを感じる自分自身への発見もありました。雲海の景色が美しく、山独特の時間の流れも感じる事ができた武奈ヶ岳も。

体力のなさ、諸行動の段取りの悪さも痛感しましたが、同時に仲間と作る食事や会話など、歩くことも含めて共同生活ならではの連帯感を感じる事ができました。この初級登山学校では、山登りが「単に汗を流すスポーツ」「リフレッシュする」を超えた域の行動であることを、少しは認識できたと思います。

昨年から少しずつ歩き始めた私の憧れは…屋久島です。晴れ女のはずなのに…みごとに雨の多かった山行(実技)。これは将来の屋久島対策だったに違いないと思っています(笑)。

【北村 真千子】

実技では毎回つらいつらいと言いつつも、無事に全行程を終える事ができた。自分が一番びっくりしている。初級登山学校に入る目的のひとつであった読図がまだ中途半端なので、今後も学習を続けて行きたい。今までは単独行動を好んでいたけれど、団体行動の楽しさを教えてもらった気がする。何よりも、山が好きになり、夢中になれる趣味を見付けられた事が嬉しい。初級で学んだ事を活かして、これからいろいろな山との出会いを楽しみたいと思う。

【木村 大義】

未だに覚えています、最初の説明会では女子が多くてびびりました。。ただ、だんだんと登山学校のカリキュラムのおかげで、仲よくなってきたと思います。

皆様ありがとうございました。

【合田 弓美】

心強い仲間たちに出会い、独りでは諦めてしまうことも励まし合い挑戦する事が出来た。いっぱい笑いあったし、我が儘で迷惑もかけた。不甲斐なさに落ち込んだりもしました。頂上を目指すだけが登山ではなく登るまでの過程や知識、信頼関係が大切なことを学び *努力*根性*協調性* に欠け、しかも野暮ったい私は人一倍訓練の日々が続きますが、来年度の冬山教室を目標に強くなってもっともっと山を楽しめるように頑張っていきたいです。

【田中 久美子】

山にはたびたび登っていましたが、シロウトの集まりで知識もなくペースもめちゃくちゃで、それでも山頂に立った時の感動はひとしおでした。新聞で遭難などのニュースを見ていて、ちゃんと山に登るなら正しい知識と技術が必要なんだと感じていた時に、縁があつて初級登山学校に入学させていただくことになりました。あつという間の半年でしたが、岩登りや縦走などいろいろな体験ができて楽しかったです。一番楽しかったのはナイトハイク(?)で、比良縦走でご来光を見に行つたことです。暗い山道をみんなでわいわいがやがや歩くのはとてもわくわくしました。これからも教えていただいた事を忘れずに、いろんな山を歩いてみたいです。ご指導いただいた諸先輩方、本当にありがとうございました。

【西山 まゆ】

山のことを知ってみたいという思いで集まった年齢も仕事も異なる個人が、山行を重ねるたびに結束していき、今では大事な仲間になりました。学生時代の部活のような体験がまた出来るとは開校前には想像もつきませんでした。そして、純粹に山が大好きで、山の魅力を一生懸命伝えて下さる田中校長や先輩たち。お陰様で、気がつけば私もすっかり山の魅力にはまっていました。素敵な人たちと出会え、雄大な自然を前に謙虚な気持ちになれば、山登りが楽しくて仕方ないです。これからも色々な山に登っていきたいと思います。

【長谷川 陽子】

人生初の登山が 2010 年の「白山」だった。あの時見た無数に散らばる星空が忘れられず、この世界に飛び込んだ。1 年前には考えられない重さのザックを背負い、険しい道も踏破していく。性別・世代を超えた交流が楽しくて、週末には山に登った。会社の人からは「山に憑りつかれた人」と言われ、装備を揃えるのに、毎週「諭吉」が飛んでった。初級学校のお蔭で、山ガールから山女への華麗なる転身を遂げられたろうか。今は、山男にならないよう踏みとどまっている。それでもまだ、テントではほとんど眠れないのだけれど。

【村瀬 令子】

まさかの生徒最年長になってしまい、若者たちに迷惑はかけられない…と心に誓っての受講となりました。一番初めに箕面で歩荷をしたときは、これは無理だなと内心納得していたのが、ついに八ヶ岳のテント泊にまで辿り着きました。初級学校にかかわって下さった豊中労山の多くの先輩方のおかげです。そして、昨日までは顔も知らなかった人達と寝食を共にして、もうだめだ…という苦しい時を共にして、仲間になることができました。すべてのみなさんに、ありがとう。

5 月 箕面山

